



中部大学
京都先端科学大学 共催 シンポジウム



リベラルアーツと歴史

2025

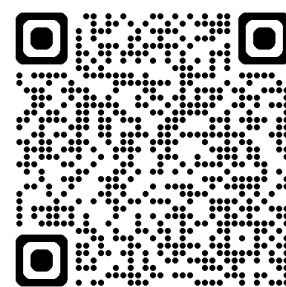
6/28 SAT

14:00 - 17:00 (ZOOM使用)

事前登録制・参加無料 (先着250名)

右のQRコードからお申し込みください

(問い合わせ先: chubu-sge@fsc.chubu.ac.jp)



2025年 6月20日 (金) 締切

※ 定員に達し次第、
申込を締め切らせていただきます



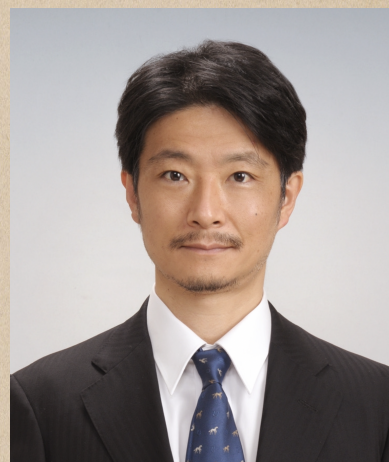
羽田正

東京大学 名誉教授



加藤陽子

東京大学大学院
人文社会系研究科 教授



伊達聖伸

東京大学大学院
総合文化研究科 教授

司会：石井洋二郎 京都先端科学大学特任教授・中部大学創造的リベラルアーツセンター顧問

Program

- 14:00 開会
- 14:00 - 14:10 主催校挨拶：前田正史（京都先端科学大学学長）
前島正義（中部大学学長）
- 14:10 - 14:15 趣旨説明：鈴木順子（中部大学創造的リベラルアーツセンター長）
- 14:15 - 14:45 発表①：羽田正「歴史はリベラルアーツか？」
- 14:50 - 15:20 発表②：加藤陽子「人文と社会のあいだ
ー日本近代史から歴史学の特性を考える」
- 15:25 - 15:55 発表③：伊達聖伸「ポスト世俗時代の宗教史学は平和に貢献できるか」
- 15:55 - 16:05 休憩
- 16:05 - 17:00 パネルディスカッション
- 17:00 閉会

Profile

羽田正（はねだ・まさし）

1953年大阪府生まれ。パリ第3大学博士課程修了。Docteur de 3e cycle (Ph.D)。専門は世界史・グローバルヒストリー。主な著作に『モスクが語るイスラム史』（中公新書、同増補版（ちくま学芸文庫））、『勲爵士シャルダンの生涯』（中央公論新社、後に『冒険商人シャルダン』（講談社学術文庫））、『イスラーム世界の創造』（東京大学出版会、アジア太平洋賞特別賞）、『東インド会社とアジアの海』（講談社）、『新しい世界史へ』（岩波新書）、『グローバル化と世界史』（東京大学出版会）、監修に『角川まんが学習シリーズ世界の歴史』全20巻＋別巻2巻）など。

加藤陽子（かとう・ようこ）

1960年埼玉県生まれ。東京大学文学部卒、同大学院人文科学研究科博士課程修了（博士、文学）。1989年から山梨大学で教鞭をとり、スタンフォード大学フーバー研究所訪問研究員などを経て、1994年から東京大学文学部に着任、現在に至る。主著に、『模索する一九三〇年代一日米関係と陸軍中堅層』（山川出版社）、『岩波 日本近現代史⑤ 満州事変から日中戦争へ』（岩波書店）、『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』（朝日出版社のちに新潮社、小林秀雄賞）、『天皇と軍隊の近代史』（勁草書房）など。

伊達聖伸（だて・きよのぶ）

1975年宮城県生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。フランス国立リール第三大学博士課程終了（Ph.D）。専門は宗教学・地域文化研究。主な著作に『ライシテ、道徳、宗教学』（勁草書房、渋谷・クロード賞LVJ特別賞、サントリー学芸賞、日本宗教学会賞）、『ライシテから読む現代フランス』（岩波新書）、『もうひとつのライシテ』（岩波書店）がある。主な共編著に、『世俗の彼方のスピリチュアリティ』（東京大学出版会）、『フランス知と戦後日本』（白水社）など。

石井洋二郎（いしい・ようじろう）

1951年東京都生まれ。東京大学法学部卒、同大学院人文科学研究科修士課程修了。博士（学術）。東京大学総合文化研究科長・教養学部長、同大学理事・副学長などを歴任。東京大学・中部大学名誉教授。主な著書に『ロートレアモン越境と創造』（筑摩書房、芸術選奨文部科学大臣賞）、『時代を「写した」男ナダール』（藤原書店）、主な訳書にブルデュ『ディスタンクシオンⅠ・Ⅱ』（藤原書店、渋谷・クロード賞）、『ロートレアモン／イジドル・デュカス全集』（筑摩書房、日本翻訳出版文化賞、日仏翻訳文学賞）など。